

和歌山電鉄貴志川線の人気者
三毛猫「たま駅長」の経済波及効果は約11億円
大学院会計研究科 宮本勝浩教授らが推定

このたび、関西大学大学院会計研究科の宮本勝浩教授らが、和歌山電鉄貴志川線貴志駅「たま駅長」の経済波及効果を推定しました。

2007年1月5日に雌の三毛猫たまちゃんが駅長に就任したことに伴い、地元の貴志川沿線のみならず、和歌山市内にもかなりの経済波及効果をもたらしました。また、同電鉄は「いちご電車」や「おもちゃ電車」を走らせるなど、集客のための工夫を実施しています。

本報告書では、「たま駅長」就任から1年間(2007年1月～12月)を対象に「たま駅長」、「いちご電車」および「おもちゃ電車」が和歌山市内に及ぼした経済波及効果を推定。10億9,440万円という数字を示しました。

さらに、経済波及効果に加えて「たま駅長」の新聞、テレビの宣伝広告効果は、2億8,141万円となりました。

分析結果について、次ページ以降にて詳しく紹介いたします。

記

- 1 テーマ 「和歌山電鉄貴志川線『たま駅長』の経済波及効果」
- 2 発表者 関西大学大学院会計研究科 教授 宮本 勝浩
大阪府立大学大学院経済学研究科博士後期課程3年 郭 進
- 3 発表日 2008年10月2日
- 4 内 容
 - (1) はじめに
 - (2) 貴志川線の乗客増加の経済効果
 - (3) グッズ・写真集の販売による経済効果
 - (4) 観光客増加の経済効果
 - (5) すべての経済波及効果の総額
 - (6) 宣伝広告効果
 - (7) 結論

以上

なお、分析結果からデータなどを引用される場合は、その旨を付記していただきますようよろしくお願いいたします。

【プロフィール】

氏 名 宮本 勝浩（みやもと・かつひろ）
生年月日 昭和20年1月12日（63歳）
本 籍 和歌山県
現 職 関西大学 大学院会計研究科 教授
学 歴 大阪大学 大学院経済学研究科修士課程修了
経済学博士（神戸大学）
職 歴 大阪府立大学経済学部教授、経済学部長、副学長歴任後、平成18年4月より現職
この間 アメリカ合衆国インディアナ大学、ハーバード大学、上海同济大学、南京理工大学、ロシア極東国立商科大学などの客員研究員や客員教授を歴任
専門分野 理論経済学、国際経済学（移行経済論） 関西経済論
著 書 「大阪経済学」共著、経営書院、「移行経済の理論」中央経済社など
公 職
財務省財政制度等審議会臨時委員
総務省情報通信行政・郵政行政審議会委員
大阪府水道部経営・事業評価委員会委員長
大阪府市町村合併推進審議会会長
堺市人事委員会委員長
公益信託泉州地域振興基金運営委員会委員長
財団法人堺都市政策研究所理事長
など
業 績
2003年 「阪神優勝の経済効果」を発表
2004年 「球界再編の経済効果」、「プロ野球のストのマイナス経済効果」、「東北楽天の宮城県における経済効果」などを発表
2005年 「阪神優勝の経済効果」、「セバ交流戦の経済効果」などを発表
2006年 「清原、中村選手のオリックス入団の経済効果」、「2008年大阪サミット誘致の経済効果」、「ディーパインパクトの経済効果」などを発表
2007年 「世界陸上競技選手権大阪大会の経済効果」、「シャープの堺市への液晶工場進出の経済効果」を発表
2008年 「東国原英夫宮崎県知事就任以後の宮崎県と東国原知事の経済効果」を発表
「くいだおれ人形の経済波及効果」を発表
「白毛馬ユキチャンの経済波及効果」を発表
「2008年阪神優勝の経済波及効果」を発表

【この件に関するお問合せ先】

関西大学 広報室広報課 / 鶴丸、北谷、木村

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL:06-6368-0075 FAX:06-6368-1266

<http://www.kansai-u.ac.jp>